

第 12 回 新潟こころの発達医学セミナー開催報告書



はじめに

新潟大学「こころの発達医学センター」は、こころの発達についての研究を進めているとともに、その啓発活動や発達医学領域の人材育成に努めています。その一環として、一般の方々、学生、研修医、医療・教育・福祉関係者を対象に、「新潟こころの発達医学セミナー」の第 12 回目を 2019 年 7 月 20 日に、旭町キャンパス第 3 講義室にて開催しました。会場には多くの聴講者が集まり、この分野に対する社会的関心の高さが伺えました。

参加者内訳	(人)
医療関係者	29
教育関係者	31
福祉関係者	23
学生	9
一般	11
計	103

セミナーの様子



本セミナーではシンポジウム「僕たちの研究生生活 ～研究成果から日々の悩みまで～」を新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野講師の福井直樹先生を座長として行い、続いて特別講演を同教授の染矢俊幸先生を座長に東京大学大学院農学生命科学研究科栄養化学研究室教授の喜田聡先生を講師としてお招きして行いました。また、新潟大学医学部小児科学教室教授の斎藤昭彦先生、新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野教授の染矢俊幸先生にそれぞれ開会および閉会のあいさつを頂きました。

シンポジウム 「僕たちの研学生活 ～研究成果から日々の悩みまで～」

演者：吉永清宏 先生(新潟県立精神医療センター児童思春期精神科 医長)

林剛丞 先生(新潟県立精神医療センター児童思春期精神科 医長)

杉本篤言 先生(新潟大学大学院地域精神医療学寄附講座 特任講師)



子どものこころの分野で臨床と研究に日々励んでいる新潟大学精神医学教室の3人の先生方からお話を頂きました。そもそもなぜ医学研究というものが必要なのか、取り組んでいる研究内容の紹介、研究の面白みとは何か、臨床と研究の両立の難しさ、研究に関する悩みなど様々なお話を聞くことができました。

特別講演

「恐怖記憶制御のメカニズムと PTSD 治療法開発への応用」

喜田聡先生

(東京大学大学院農学生命科学研究科栄養化学研究室教授)



喜田先生には「恐怖記憶制御のメカニズムと PTSD 治療方法開発への応用」の題でお話頂きました。記憶全般のメカニズムから、げっ歯類の恐怖条件付け研究から考察される PTSD 治療標的候補すなわち再固定化、消去、忘却などについて大変丁寧に解説いただきました。質疑の際の座長の染矢先生とのやり取りでも大変示唆に富むお話を頂きました。一般の方から専門職まで様々な人たちに分かりやすく、今後のトラウマ治療開発に希望を与えるお話を頂くことができました。

おわりに

以上、第12回セミナーの様子を簡単にご報告させていただきました。
今後も定期的にセミナーを開催し、子どものころに関する最新の知見や
新潟大学精神医学教室の研究内容などを皆様にお伝えし、
意見情報交換などを行える場として、
地域に根差した活動を行っていきたいと思っております。

主催

新潟こころの発達医学研究会

協賛

吉富薬品株式会社、大日本住友製薬株式会社、大塚製薬株式会社、
ヤンセンファーマ株式会社、Meiji Seika ファルマ株式会社、株式会社ツムラ、
アステラス製薬株式会社、新潟大学協和会、塩野義製薬株式会社、
持田製薬株式会社、武田薬品工業株式会社
(敬称略・順不同)